

再発しやすい 口唇ヘルペスを 正しくケア



- 学びPOINT
- 1 口唇ヘルペスのメカニズムを知る
 - 2 再発の予防法と対策を学ぶ
 - 3 第1類医薬品の正しい使用法を知り、賢く使う

口唇ヘルペス/Profile

発症のサイン

初感染の場合

一般に初感染では、4~7日の潜伏期間を経て、唇周辺が痛がゆくなった後、2~3mmの水ぶくれやかゆみなどが出る。子どもの場合は初感染時に症状が現れないケースがほとんどだが、大人は強い症状が出る人が多い。



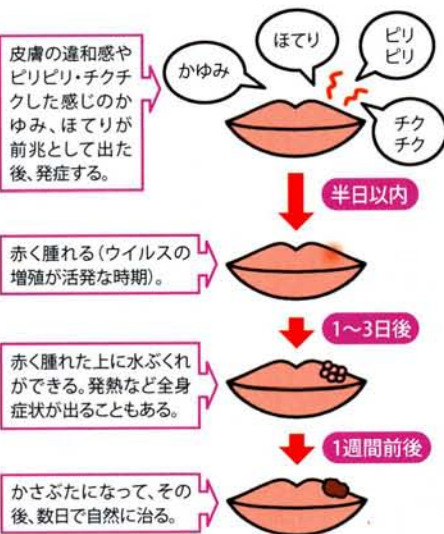
<発症時に伴うことが多い主な症状>

- 発熱
- あごの下のリンパ節の腫れ
- 頭痛
- のどの痛み
- 倦怠感 など

対処 → 医師による診断、処方薬の使用

再発の場合

再発は年1~2回のペースで起こることが多い。通常、再発のたびに軽症化するが、対処法などにより症状が重くなる場合もある。



対処 → 市販の塗り薬の使用が可能

ヘルペスってどんな病気?

「ヘルペス」とは、一般に単純ヘルペスウイルスによる感染症のこと。ウイルスの種類によって体の様々な部位に発症する。単純ヘルペスウイルスには1型と2型があり、特徴は次の通り。

- 1型…上半身に発症。口唇ヘルペス、角膜ヘルペス、歯肉口内炎、咽頭炎、ヘルペス脳炎など。
- 2型…下半身に発症。性器ヘルペスなど。

単純ヘルペスウイルスは1型、2型とも初感染のときは体のどこにでも感染して同じような症状が出るが、再発した後は同じ場所に繰り返し症状が出る。



笠井耳鼻咽喉科クリニック院長
笠井 創先生

かさい・はじめ 千葉大学医学部卒業後、同大学耳鼻咽喉科学教室入局。1983年千葉大学医学部大学院卒業(医学博士)、国保君津中央病院耳鼻咽喉科医長、85年国立がんセンター病院頭頸部外科医員。88年横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長、千葉大学医学部耳鼻咽喉科非常勤講師兼任。90年耳鼻咽喉科気管食道科笠井クリニック(横浜)開設。99年笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室開設。